

平成 2 8 年

第 4 回仙北市議会臨時会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 8 年 5 月 2 日

平成28年第4回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇新年度スタートについて

市内の小・中学校12校は、4月5日に始業し、6日から8日にかけて、入学式が予定通り実施されました。小学校7校の児童数が1,170人(前年度1,215人、前年度比45人減)、中学校5校の生徒数が615人(前年度618人、前年度比3人減)、計1,785人(前年度1,833人、前年度比48人減)で、新学期がスタートしております。

◇全国学力・学習状況調査の実施について

4月19日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が全国一斉に実施されました。教科に関する調査においては、国語及び算数・数学の知識と活用に関する調査が、また、生活環境や学習環境等に関する質問紙による調査が行われました。この調査は、原則として全国の国公私立の全小中学校の児童・生徒が対象で、本市でも小学校7校、中学校5校が調査に参加しております。

◇仙北市育英奨学資金の貸与者の決定について

平成28年度「仙北市育英奨学資金」の募集に対して、高校5人、技術専門校1人、専門学校6人、短大2人、国公立大学9人、私立大学12人の合計35人(昨年度20人)の申請がありました。

4月13日に、仙北市育英奨学資金運営審議会(仙北市校長会会長・高等学校長、学識経験者、地域センター長等8人)を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、申請された35人全員が平成28年度奨学生として、教育委員会に答申され、4月27日の教育委員会定例会において、答申通り決定さ

れました。

◇クニマスの教材化について

中坊徹次京都大学名誉教授の「幻の魚は生きていた」と題した文章が取り上げられた国語の教科書が、4月に入学した中学1年生に配布されました。これは、光村図書出版(東京・品川)の教科書で、県内すべての中学校がこの教科書を使い、全県の1年生、約8,000人がクニマスを通した説明文について学ぶことになります。

授業をとおして、クニマスや田沢湖再生に興味をもつ生徒が全国的にも大きく増え、その中から新たな研究者が生まれることにも期待したいと思います。

【角館公民館】

◇仙北市公民大学のスタートについて

4月20日に角館交流センターで、仙北市公民大学の入学式・始業式が行われました。公民大学は、平成25年度から仙北市公民大学と名称を改め、参加対象を市内全域に拡大し、年齢制限を撤廃するなど、より開かれた大学を目指しております。郷土研究学科をはじめとした5学科に、20人の新入学生が加わり、33歳から95歳まで、153人の学生が新たなスタートをしております。

また、田沢湖・西木公民館においても、新年度の講座や事業が順調に始まっております。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「新潮文庫のひみつ展」について

4月16日から7月31日まで、新潮社記念文学館で、新潮社創立120周年記念企画展「新潮文庫のひみつ展」を開催しております。

仙北市角館町出身の新潮社創業者佐藤義亮が、新潮社の前進である新声社を明治29年（1896年）に立ち上げてから今年で120年を迎えます。これを記念して開催する「新潮文庫のひみつ展」では、新潮社から多大なるご協力をいただき、多くの人に親しまれている新潮文庫の「かたち」に焦点を当てた展示となっております。

大正3年に、最初の新潮文庫が刊行されてから100年を越えた現在まで、かたちを変えながら読み継がれている新潮文庫にはどんなひみつがあるのか、創刊から現在に至るまでの歴史や現在のかたちについて、バラエティに富んだ資料により紹介しておりますので、多くの皆様にご覧いただきたいと思えます。

【文化財課】

◇さくらの状況及び武家屋敷公開事業について

今年の桜の開花状況についてご報告いたします。今年の桜前線は、暖冬による影響で平年より早く北上し、本市でも武家屋敷通りのシダレザクラが4月15日に開花し、21日に満開、桧木内川堤のソメイヨシノは20日に開花し、23日に満開の状況となりました。昨年に比べ、ウソの食害による影響は軽微で、良好な開花状況となっております。

また、武家屋敷の公開事業については、4月9日から重要伝統的建造物群保存地区の「岩橋家」、「河原田家」、「小田野家」と同地区外の「松本家」の公開を始めております。

なお、20日からは、田沢湖郷土史料館の公開もスタートしております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げます、教育行政報告といたします。